

野生動物の交通事故の多発

緊急記者会見



平成22年6月3日

環境省 那覇自然環境事務所
奥田 直久



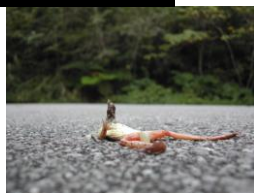
野生動物の交通事故

やんばるや八重山の道路は野生動物の生息域の中を通っているため、日常的に様々な生き物が道路を行き来している。

車のスピードに野生動物が対応することは難しく、昆虫から両生類・は虫類、鳥類・ほ乳類を問わず交通事故の犠牲になっている。



やんばる では・・・



八重山でも・・・



例年になく事故が多発

やんばる ヤンバルクイナ、ケナガネズミ
 八重山 カムリワシ
 西表島 イリオモテヤマネコ

については
 例年になく事故が多発していることが
 明らかになっていることから
 その状況をお知らせします

やんばる地域ロードキル発生防止に関する連絡会議

- ヤンバルクイナの交通事故急増を受け、那覇自然環境事務所呼びかけで、道路・警察・森林・自然環境などに関する国・県・村・その他機関が平成16年に「やんばる地域ロードキル発生防止に関する連絡会議」を設置。構成機関による交通事故防止キャンペーン等を実施。

事故件数:	
1998	1
2003	6
2006	13
2007	23
2008	19
2009	20
2010	14 (8月1日現在)



ヤンバルクイナの交通事故



交通事故対策

- 連絡会議の構成員として、各主体がそれぞれの立場で対策(道路改良、救護と治療、普及啓発活動等)を実施。



看板設置



ロードキル防止キャンペーン



ロードキル防止キャンペーン

実施日 2010年4月24日

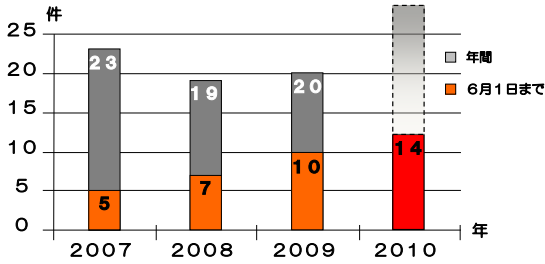
参加者 サンライズひがし: 約46名
 国頭村 ゆうゆい国頭: 約38名

配布部数 約250部
 クイナちらし+捨て猫防止ちらし: 200部
 クイナちらしのみ: 65枚



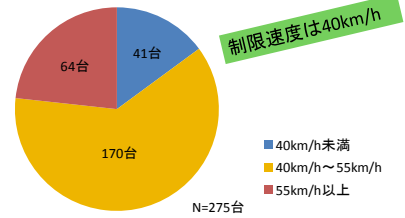
ヤンバルクイナ交通事故件数の比較

過去最悪のペースで事故が発生しています



車両の速度

国道70号線における事故記録地点付近を通行する車両の速度



森ほか、2010. ヤンバルクイナの交通事故リスクに関わる要因. 保全生態学研究15:61-70.

交通事故多発区間



交通事故を防ぐために

ヤンバルクイナの交通事故は
スピードを落とすことで防げます。



要注意区間には看板を設置してあります。

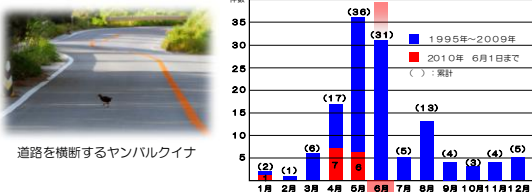


できるだけ目線を下に落とし、
道端の草上げに注意してください。

時期について

※今月も要注意時期です

月別 交通事故確認件数 (1995年～)

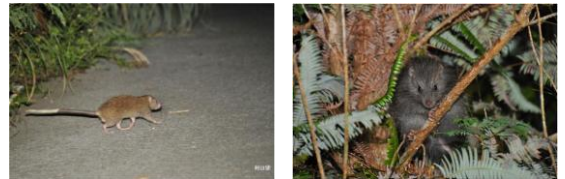


道路を横断するヤンバルクイナ

片親を亡くすと、ヒナも生き残るのが難しくなります。

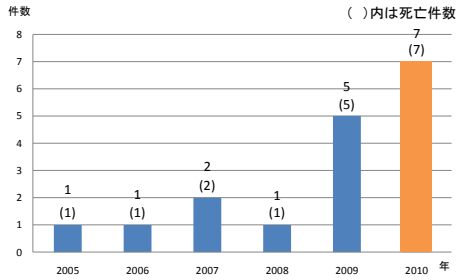


ケナガネズミの交通事故について

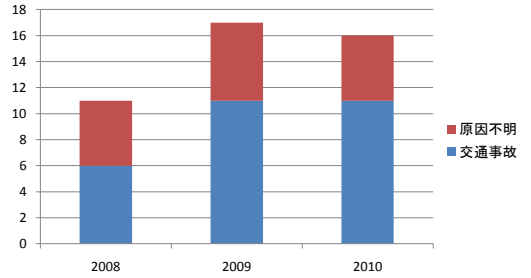


数年前まで幻のネズミといわれていました。
夜間行動し、木登りが得意です。
地面を歩くのは苦手で、道路では素早く動けません。

ケナガネズミの交通事故確認件数の推移

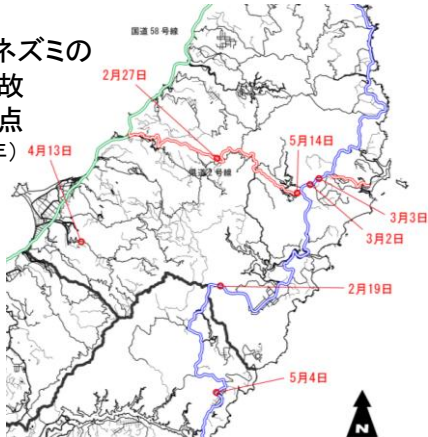


死傷個体数の推移

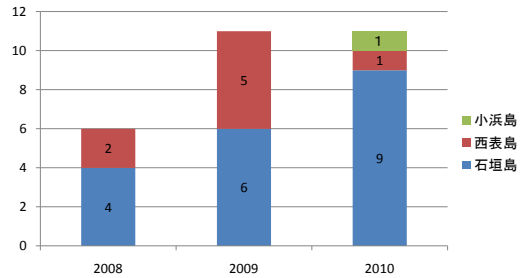


交通事故個体数の占める割合が増加
2010年は5ヶ月で、2008年、2009年以上

ケナガネズミの交通事故確認地点 (2010年)



交通事故 及びその疑いの高い死傷個体の状況

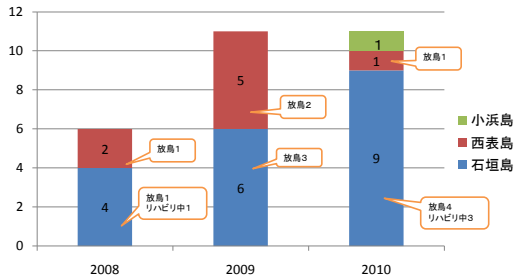


石垣島における交通事故が増加

カムリワシの交通事故



救護個体の状況



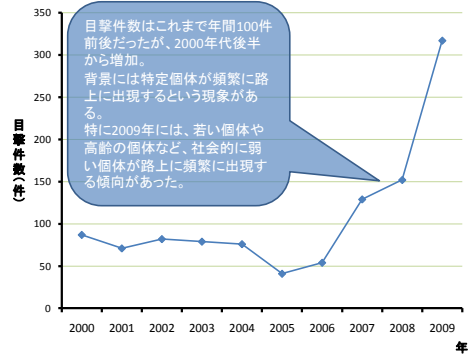
救護時に生存していた個体の約半数を放鳥するが、放鳥不可能な個体も

西表島では、野生復帰が適正に推移しているか確認するため放鳥個体にウイングマーカを装着中

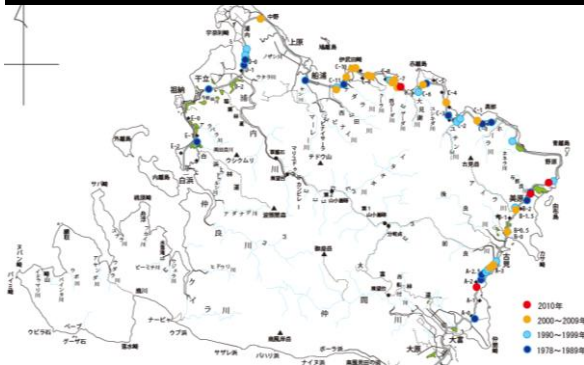


一般の方からの情報を呼びかけています

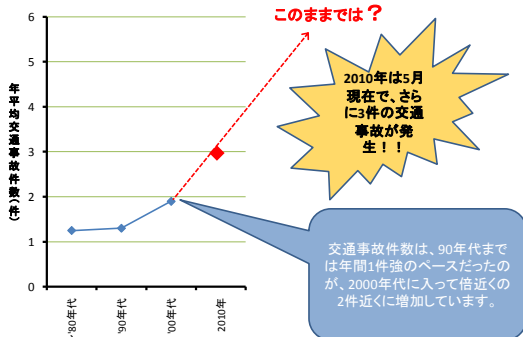
イリオモテヤマネコの目撃件数の推移



イリオモテヤマネコの交通事故



イリオモテヤマネコの交通事故の増加



2009年7月22日の交通事故

22:47 北岸インダ崎付近



生後3ヶ月ほどの仔ネコ(オス)
発見者による通報 事故直後と思われる

最近の交通事故の傾向: 社会的に弱い個体や未経験の個体が多く事故にあっている

2010年4月13日の交通事故

19:53 北岸 西ゲータ橋東



なわばりができたばかりの若いメス
車にはなられ、後続を走っていた地元の方が目撃して通報

2010年1月3日の交通事故

7:20 大富~古見間



生後5ヶ月ほどの仔ネコ(オス)
発見者による通報 事故直後と思われる

2010年5月12日の交通事故

5:25 美原 牧場サイロ入り口の北カーブ



放浪中の若い個体(回収できずにいる)
発見者が通報中にふらふらと起き上がり数へ入る
懸命に捜索するがまだみつからない。目撃情報を収集中

2010年2月14日の交通事故

20:00 美原 ヨナラ橋東



なわばりを求めて放浪中の若いオス
当事者による通報で懸命の救命努力をするが死亡

移動式看板の設置



5/12事故現場に設置
事故にあった個体が、また道路に出る可能性があるため
目撃情報を集め、連絡があったらすぐに保護回収に出動する体制をとっている

他にも路上出現が多いところに
移動式看板を置いてあります。
注意！！

ケガをしている、死んでいるヤマネコをみつけたら

ヤマネコ緊急ダイヤル
0980-85-5581
 西表野生生物保護センター
 毎日24時間受け付けています

万一あなたが当事者でも！
 故意でない限り罰せられることは
 ありません。救命のために、
 今後の事故対策のために、
 どうか通報して下さい！

目撃情報を教えてください！事故対策に役立ちます！
 上記の電話、またはメールにて
 R0-IRIOMOTE@env.go.jp

ホームページでも情報発信をしています！
<http://iwcc.ala9.jp>

非常事態宣言

ヤンバルクイナ、ケナガネズミ、
 カムリワシ、イリオモテヤマネコの
 交通事故多発を受けて

非常事態宣言を受けての取組み

- ◆ DVDの作成
 (やんばる国頭の森を守り活かす連絡協議会 (CCY))

国頭村道の駅来訪者
 レンタカー利用者
 運転免許更新者
 国頭村の工事関係者
 国頭村民に対して発信に活用予定



非常事態宣言を受けての取組み

地元酒造所による啓発活動

- ◆ 大宜味村の田嘉里酒造の泡盛「山原くいな」へ啓発タグを付ける。
- ◆ 地元から、交通事故を防ぐための取組みが生まれています。



非常事態宣言を受けての取組み

交通事故件数看板の設置 (大宜味村、国頭村、東村)

- ◆ 各村の道の駅に設置
- ◆ 利用者へ交通事故の実態を知ってもらいます。



まとめ

- 本年は例年になく事故が多発しており、非常事態である
- 交通事故多発の要因は不明な点が多い
- 関係機関や地元企業が独自の取組を実施
- 車速減速などゆとりある運転で事故防止！
- 移動式看板などの設置地点では特に注意
- 死傷個体発見や事故について通報を

お知らせ

- このあと、16時から県民広場、パレットくもじ前広場において、キャンペーンを実施します。
- まーや、クイちゃんも参加します。

主催 環境省那覇自然環境事務所
沖縄県文化環境部自然保護課

共催 やんばる地域ロードキル発生防止に関する連絡会議
沖縄ペットワールド専門学校